２０２４．１．１８

志賀原発を廃炉に！訴訟 原告団
北　野　　進

原子力市民委員会（CCNE）　緊急オンラインシンポジウム

能登半島地震から問い直す原発稼働の危険性

今日お話ししたいこと

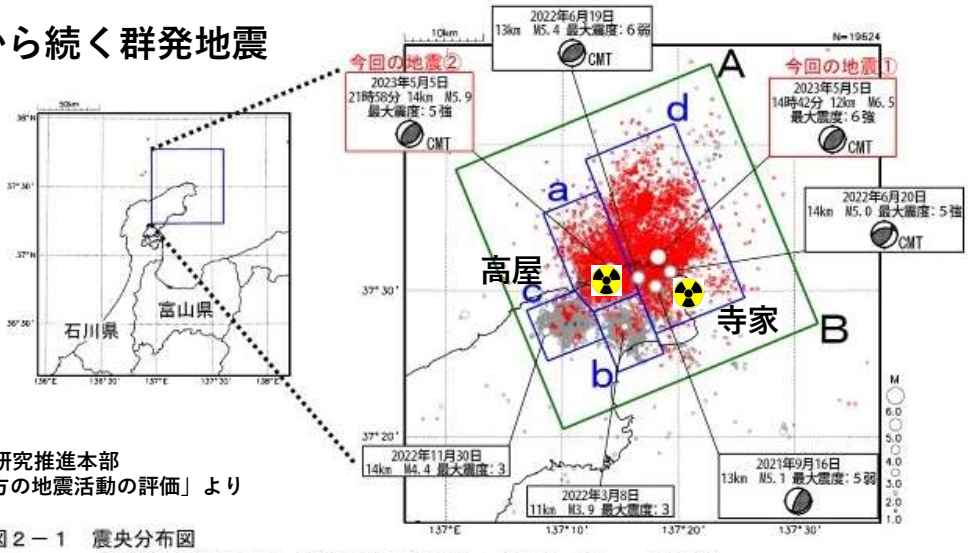
1　これで収束に向かうのか
　　次の大地震は来ないのか

2　陸路も海路も無理　空路も困難
　　避難計画は破綻した

3　最後の警告　志賀原発は廃炉に

珠洲原発予定地 高屋・寺家は群発地震の巣の中

３年前から続く群発地震



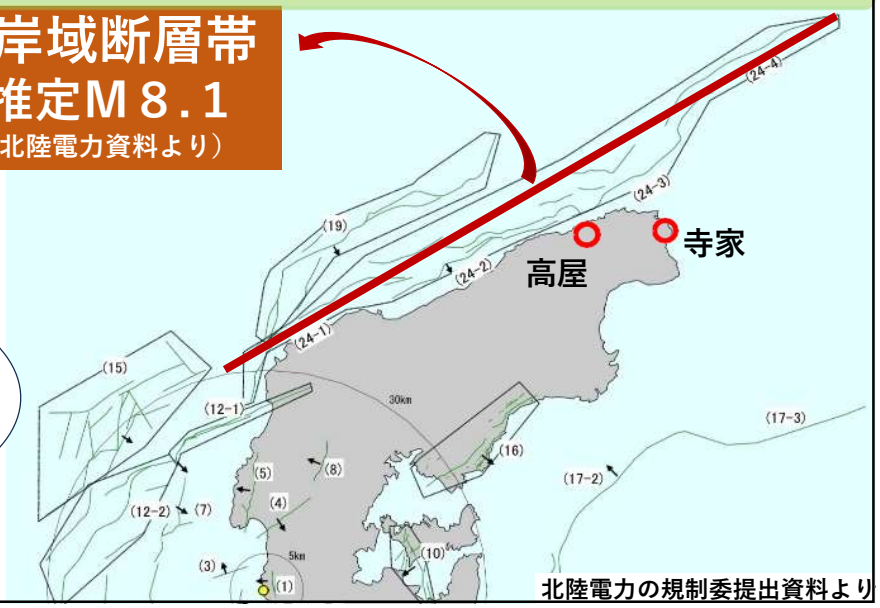
23.6.9 地震調査研究推進本部
「石川県能登地方の地震活動の評価」より

図２－１　震央分布図
（2020 年 12 月 1 日～2023 年 5 月 31 日、深さ０～25km、M≧1.0）
領域ａ～ｄの各領域内で最大規模の地震及び最大震度５弱以上の地震に吹き出しを付加

さらに強い揺れに警戒を！

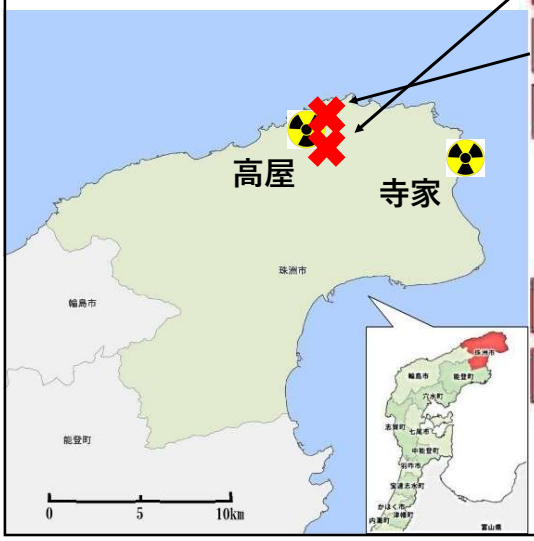
能登半島北部沿岸域断層帯
長さ ９６ｋｍ　推定Ｍ８.１
（2023.5.12規制委へ提出した北陸電力資料より）

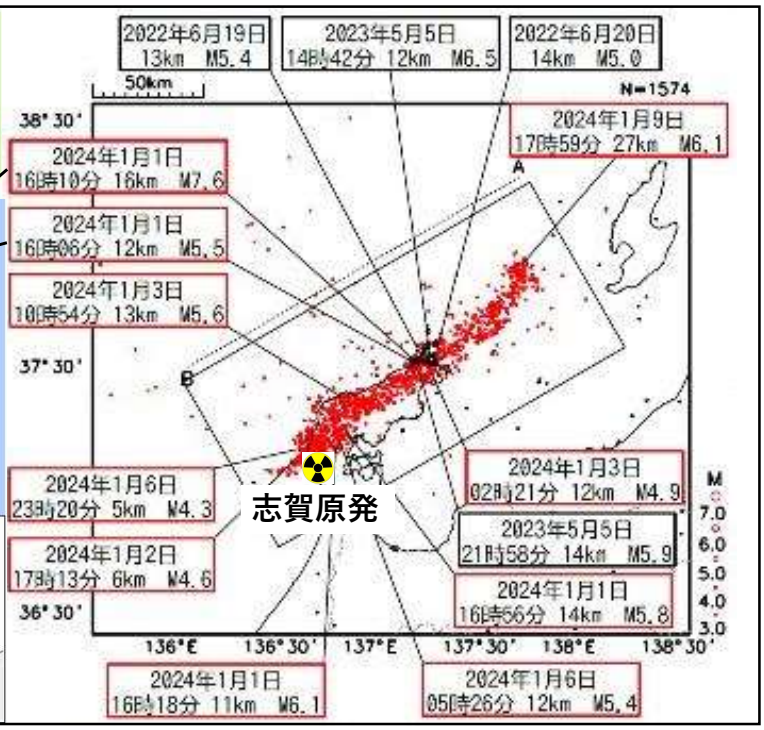
珠洲原発の計画があった当時は、活断層の存在すら認めなかった。



北陸電力の規制委提出資料より

群発地震が引き金となった能登半島地震
震央は ほぼ高屋



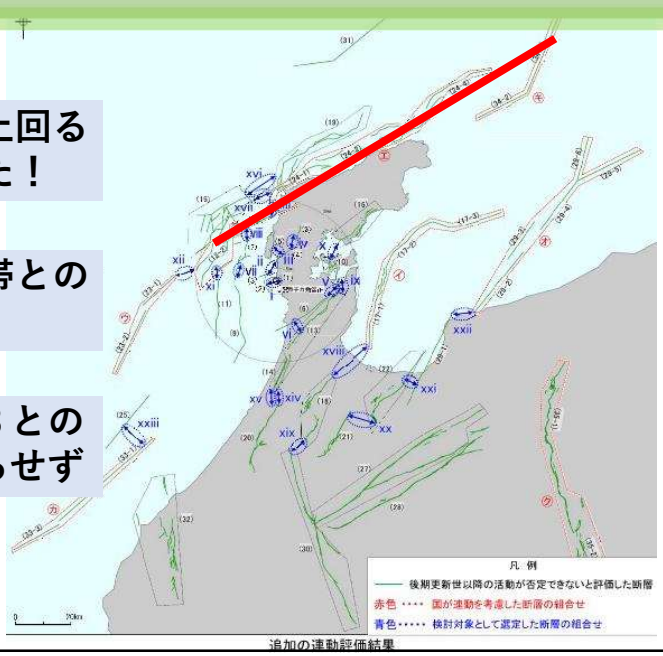


笹波沖断層帯(東部)? ✚ 能登半島北部沿岸域断層帯 ✚「NT2・NT3」?

北陸電力の評価を大きく上回る
１５０ｋｍの断層が動いた！

西側：北電は笹波沖断層帯との
連動を否定

東側：規制委はNT2-NT３との
連動の検討指示すらせず



追加の連動評価結果

志賀原発に次の大地震は来ないのか？！

笹波沖断層帯 M7.6

海士岬沖断層帯 M6.6

羽咋沖東撓曲 M6.6

碁盤島沖断層 M6.0

兜岩沖断層 M5.8

周辺断層との連動あれば、
さらに巨大な地震に！

酒見断層 M6.6

富来川南岸断層 M6.4

志賀原発　福浦断層 M5.7

眉上山第二断層 M7.1

邑知潟南縁断層帯 M7.6

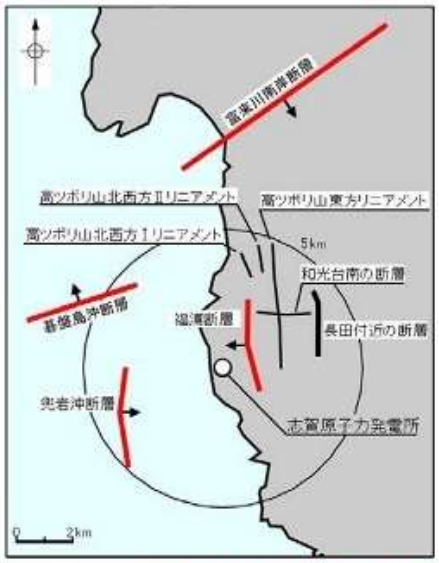
富山湾西岸域断層 M8.0

魚津
沖断層帯と能登
半島東方沖の断層
M8.3

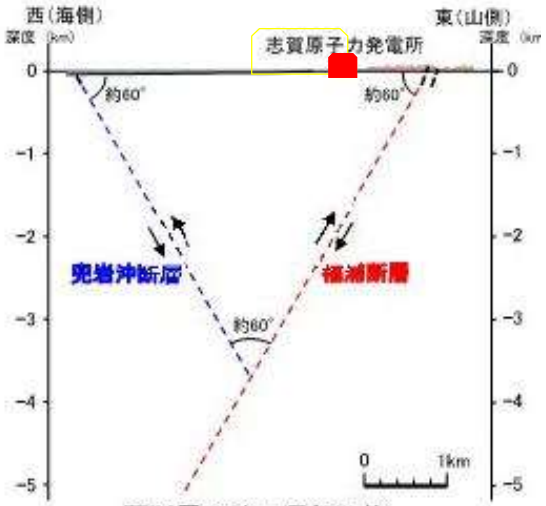
牛首断層 M8.0

数字は北陸電力の規制委提出資料より

こんなリスクも　―近傍の活断層―



断層等（赤線は後期更新世以降の活動が否定できないと評価したもの）

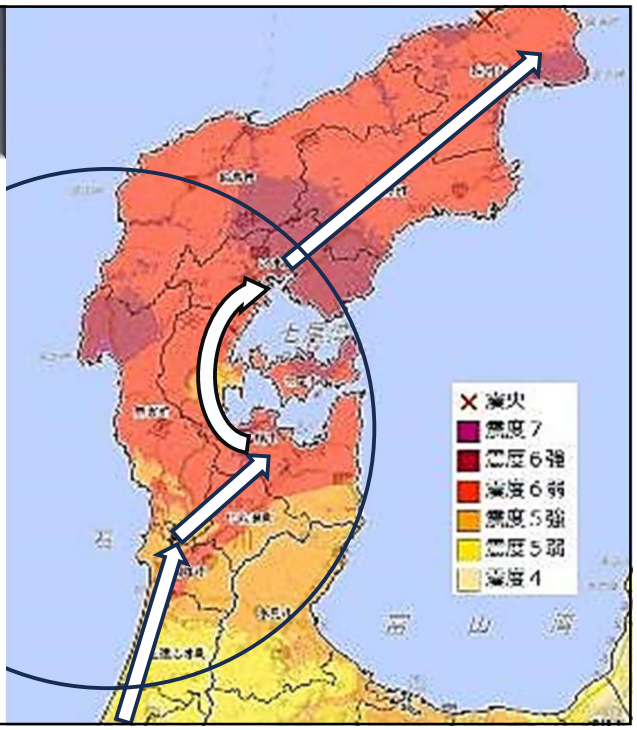


両断層の地下深部形状
（福浦断層が兜岩沖断層を切っている場合）

北陸電力の規制委提出資料より

震度６弱～強エリアを走る

1月5日（M7.6から4日目）
金沢市から珠洲市への
帰宅路を紹介



避難計画は破綻　ー陸路ー

穴水から三井方向

珠洲道路　能登空港手前

避難計画は破綻　ー陸路ー

至るところに大きな亀裂
が口を開けている

橋脚手前　１m近い段差を補修

避難計画は破綻　ー陸路ー

至る所に陥没や亀裂

補修してあるので走れるがかなりの段差

避難計画は破綻　ー陸路ー

正院から三崎へ
（正院ー粟津線）

土砂崩れもあちこちで。
１車線分がようやく開通

避難計画は破綻　ー陸路ー

ちょっと油断すると亀裂にはまる

道路脇　至る所にパンク車が

避難計画は破綻　ー陸路ー

昨年５月の地震で被害を受けた家が、今回の地震で倒壊

倒壊した家屋が片側車線をふさいでいる

避難計画は破綻　ー陸路ー

昨年１２月２３日の大雪。ほぼ一晩でこれだけの積雪

亀裂や陥没のある道路には危険で除雪に入れない。

避難計画は破綻　ー海路ー

外浦側の港は隆起で使えず
富山湾側は地震被害、
津波被害で使えず

海路からの重機や物資の搬入計画もほぼ断念

避難計画は破綻　ー空路も困難ー

能登空港閉鎖
滑走路にひび数か所（長さ１０ｍ以上）
１月１２日、自衛隊輸送機着陸
そもそも空港まで多くの住民は行けない

原子力防災訓練でも自衛隊ヘリは毎回登場

原発以北の住民約７万人の大量避難には対応できない

最後の警告　志賀原発は廃炉に

「珠洲になくてよかった」「志賀は止まっていてよかった」

「志賀は廃炉にする！」「脱原発社会を実現する！」